事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 29 日（13：00～14：00）
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐 ・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7 人	5 人	人	12 人

前回の改善計画

・情報収集する意識を高める為に、各自でアセスメントシートを活用。
各自で得た情報を記入していき、職員間で情報共有し対応の統一に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

・事前に得た情報を職員間で共有、不安や疑問をその都度話し合ったが、全職員がその内容を把握しきれていない事があった。アセスメントシートの活用に至らず、申し送りで追加情報を発信する事が多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		11	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		9	3		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？		11	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		8	4		12

できている点

・事前のアセスメントやニーズは聞き取る事ができている。
・本人、家族からのニーズやこれまでの生活歴などを踏まえ、「安心」に繋がるような対応に努めている。

できていない点

・各自が得た情報を申し送りはできてもアセスメントシートへの記入はできなかった。
・追加情報を伝えきれていない事があった。
・直接コミュニケーションを図り、思いを聞き出す事が不十分な場合があった。

次回までの具体的な改善計画

・新規利用開始前は、再度必要な情報を確認し合う。
・細かな気付きをケース記録に入力し共有する。
・個々の利用者への声掛けの成功例や工夫など、事例を上げて共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年11月29日（13：00～14：00）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐 ・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	12人	人	12人

前回の改善計画

・毎月、貼りだした「～したい」についてミーティングで共有。
　１つでも多くの「～したい」を実現するためのプロセスを具体的にし、担当職員を中心に計画していく。
・これまでの生活歴や家族からの情報を参考にしながら、本人に関心を持って関わりを深めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・聞き出した「～したい」を共有しやすいように貼り出し実現できたものもあったが、徐々に張り出す事をしなくなり、共有、実現への取り組みとして定着させる事がなかった。
・畑作業を得意とする利用者を中心に野菜作りに取り組み、きらめきでの楽しみの一つとなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		3	9		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		3	9		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？			12		12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		2	10		12

できている点

・「出掛けたい」などの要望は、その日の職員で調整を行い、即実行できた。
・「元気に過ごしたい」など健康面に対しての目標については、体操を行ったり、過剰介護にならないようできる事を奪わないケアに努めている。

できていない点

・「～したい」を目指した関わり方ができていない。
・「～したい」を実現するための具体的な話し合いができていない。
・聞き取った「～したい」を発信せずにそのままにしてしまう事がある。

次回までの具体的な改善計画

・聞き取った「～したい」は、その日のうちに付箋で貼り出し共有する。
・毎月一つは、担当者を中心として実現に向けて話し合いを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 29 日（13：00～14：00）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	9 人	3 人	人	12 人

前回の改善計画

・職員間で利用者の状態に合わせた介助が行えているかを確認し合い、統一したケアが行えるようになる。
・毎月のモニタリングで、現状に見合ったケアが行えているかの振り返りを行い、必要に応じて改善していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用者の状態変化の気付きをその都度発信し、対応について話し合いを行った。
・担当職員がモニタリングを実施、ケアマネジャーが評価を行いケアの振り返りを行った。」

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		1	11		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		12			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		5	7		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		12			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		12			12

できている点

・介助について気が付いた点はその都度発信し、統一したケアが行えるように働きかけている。
・利用者の気持ちにムラがあった時など、しっかりと受け止め情報発信出来ている。
・表情に不安が見られた時などは、職員が連携し個別対応できている。

できていない点

・利用者とじっくりと関わる時間が持てず、「以前の暮らし」についての聞き取りが不十分だった。
・基礎的な介護は行えていたが、利用者の状態の変化に合わせた細かなケアの見直しが出来ていないことがあった。

次回までの具体的な改善計画

・「以前の暮らし」を聞き出す事を意識して利用者と関わりを持つ。得た情報をカルテへ追加記入をしていく。
・利用者自身の出来る事は本人のペースで行えるような環境作りをする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 29 日（13：00～14：00）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐 ・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	6 人	5 人	1 人	12 人

前回の改善計画

・引き続き、本人と地域住民が良好な関係性を築けるように努め、本人に必要な地域の資源は何かを把握し支援に活かしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・地域住民との話し合いの場を設け、協力を得ながら在宅生活を支援している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		4	7	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		6	5	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		6	5	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3	8	1	12

できている点

・送迎や訪問時なども含め、地域住民とのコミュニケーションを図り、本人の生活スタイルなどの情報を得る事ができた。
・地域住民との話し合いの場を設け、協力を得ながら在宅生活を支援している。

できていない点

・家族と地域との関係性が把握できず、入りこむ事ができない場合がある。
・民生委員を把握できていない地域があった。

次回までの具体的な改善計画

・各地域の民生委員の情報を収集する。
・ご家族やご近所の協力を得ながら地域行事の参加に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年 11 月 29 日（13：00～14：00）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐 ・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	3 人	8 人	1 人	12 人

前回の改善計画

・本人を取り巻く地域の全ての物が資源である事を理解できるように、改めて具体例を挙げ、支援に取り入れていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・必要に応じて地域の資源を支援に活かせたこともあったが、職員の理解を深めるための勉強会は開催出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		4	7	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	10			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		12			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	11			12

できている点

・本人や家族のニーズに応じて、急な場合にもサービスの調整を行い支援することができた。
・毎日の昼礼でその日の気付きを共有できている。
・細かな体調変化も家族に伝え、受診に繋がった。

できていない点

・地域によっての資源を理解しきれていない。
・地域と家族との関係性もあり、地域を巻き込んでいけない場合もある。

次回までの具体的な改善計画

・「これまでの暮らし」を把握したうえで、本人に必要な地域の資源は何かを探り、支援に取り入れていく。
・毎日のミーティングで細かな気付きや情報を共有し、柔軟な支援を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年 11 月 29 日（13：00～14：00）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐 ・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	３人	７人	２人	０人	12 人

前回の改善計画

・コロナ前に開催していた「きらり祭」などを復活させ、地域参加型のイベントを計画していき、住民との交流の機会を設けていく

前回の改善計画に対する取組み結果

・事業所全体でのイベントとして４年ぶりに「きらり祭」を開催できた。地域の方のステージ発表や露店もあり多くの来場者で賑わった。
・自部署のイベントでは、「ミニ運動会」を開催。ご家族との交流を深めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	4	4	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	6	3	2	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	2	4	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	1	7	3	12

できている点

・代表者が地域の会議や研修に参加し、交流はしっかりとできている。
・地域のイベントにご利用者と一緒に出掛けることができた。
・「きらり祭」や「ミニ運動会」を開催し、地域の方や家族との交流を深めることができた。

できていない点

・イベントがなければ、地域の方が気軽に立ち寄れる場所にはなっていない。

次回までの具体的な改善計画

・「きらり祭」など事業所全体での行事により多くの方が来場して頂けるよう日頃から地域との関わりを大切にしていく。
・部署内での家族参加行事を開催し、ご家族との交流を深めていく事で気軽に相談できる場所にしていく。
・職員が交代で地域のサロンに出向き、地域の方との交流を深めきらめきを知って頂く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年11月29日（13：00～14：00）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐 ・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	7人	4人	0人	12人

前回の改善計画

・コロナ以前のように家族参加型のイベントを開催し、家族との交流の機会を設け、意見や要望の聞き取り、運営に反映させていく。
・運営推進会議を通して、地域の困りごとや事業所への意見などを聞き取り、改善に向けて取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・事業所全体での「きらり祭」や自部署での「ミニ運動会」を開催し、地域の方やご家族との交流を深めることができた。
・会議では、事業所の活動報告を行い、地域の方との意見交換ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	4	4	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	6	4	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	5	5	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	4	5	1	12

できている点

・ご利用者と一緒に地域のイベントに参加することができた。
・送迎時などに頂いた家族からの意見を職員間で共有し、必要に応じて話し合い改善出来ている。

できていない点

・運営推進会議での内容を他職員にしっかりと伝えきれていない。

次回までの具体的な改善計画

・運営推進会議での報告内容や頂いた意見要望を他職員にも伝えていく。
・地域と関わりを深めるために、地域行事に職員が交代で参加できるように計画していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年 11 月 29 日（13：00～14：00）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐 ・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	８人	４人	人	12 人

前回の改善計画

・事故ヒヤリハットの再発防止策について、何故そうするのかの理由付けを明らかにして、職員全員が理解出来るようにする。改善策が有効に活かされているか、毎月振り返りを行い事故未然防止への意識を高めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・事故やヒヤリを共有し、再発防止策をその都度話し合っているが定期的な振り返りが不十分だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	5	5	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	6	1	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	6	4	12
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	0	7	4	1	12

できている点

・毎月職員全員参加の研修（映像や事例検討）を実施し、職員のスキルアップ、サービスの質の向上を目指している。
・ZOOM 研修を含め、勤務調整が可能な場合は研修に参加出来ている。

できていない点

・事故、ヒヤリハットの対策について、定期的な振り返りの日程を決めていなかった為、改善策が活かされているかの話し合いを行えていなかった。

次回までの具体的な改善計画

・軽微なヒヤリや気付きを積極的に発信、早期対応を行い事故未然防止に繋げていく。
・介護事故やヒヤリハットの改善策が活かされているか振り返りの日程を決め、定期的に見直しを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 29 日（13：00～14：00）

９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	長谷川・橋本・正藤・平井・篠崎・甚佐・片山・上野・高橋・牧野・溜・宮越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	12 人	人	人	12 人

前回の改善計画

・無意識のうちに不適切な対応になっていないか、プライバシーの配慮は出来ているか具体的な例を挙げて振り返りを行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・身体拘束や虐待について、全職員が映像研修や事例検討学習に参加し、自分の日頃の対応について振り返り、意識を高めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	6	6			12
②	虐待は行われていない	6	6			12
③	プライバシーが守られている	4	8			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	5	4	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	9			12

できている点

・身体拘束、虐待は行われていない。
・接遇について適切な言葉遣いが出来ているかなど、自身の振り返りを行った。
・成年後見制度が必要とされる方について、包括支援センターと共に取り組む事ができた。

できていない点

・成年後見制度についての情報共有が不十分だった。

次回までの具体的な改善計画

・定期的に日頃の対応について振り返りを行い不適切な対応になっていないか確認し合う。
・成年後見制度の勉強会を行う。